

12/3(火) の発表



報道発表資料の配付日時

12/3(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎の集団発生について (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ (速報) 感染性胃腸炎の集団発生について公表するもの。 岩見沢保健所(介護保険施設：40名：ノロウイルス)・・・別紙1 ◆ (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について公表するもの。 江別、帯広、釧路保健所・・・別紙2 		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	岩見沢、江別、帯広、釧路保健所	

担当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当：角)</p> <p>電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
-------------	---	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）12月3日（火）15時00分

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）12月2日（月）、岩見沢保健所管内の介護保険施設において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年（2019年）12月2日（月）に、岩見沢保健所管内の介護保険施設から複数の利用者及び職員が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

岩見沢保健所管内の介護保険施設の利用者32名及び職員8名の計40名が、11月27日（水）から12月2日（月）にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち39名が医療機関を受診し治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の状況

12月3日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

11月27日（水）～12月2日（月）

おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

12月2日（月）

介護保険施設から保健所に通報

11月30日（土）～12月2日（月）

医療機関において有症者7名の便を検査した

結果、3名からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

岩見沢保健所では、当該介護保険施設に対し、利用者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、岩見沢保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜 伏 期 間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く）

12月3日（火）現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	148	116
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	3,019	2,390

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センター

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）12月3日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111(内線:25-506)

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第48週（11月25日（月）～12月1日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ペロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
江別	無症状病原体 保有者 (O128)	男性 (40歳代)	—	—	11月29日 (金)	—	—
帯広	無症状病原体 保有者 (O157)	女性 (幼児)	—	—	11月25日 (月)	—	11月26日（火） 公表の患者 (女性(幼児)) の家族
釧路	患者 (O157)	男性 (小学生)	11月20日（水） 腹痛、下痢	11月22日 (金)	11月27日 (水)	症状は快方に向か っている。（入院 はしていない。）	—

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2019年） 12月1日（日）時点

区分/O抗原型	8	18	25	26	74	91	103	111	115	121	128	145	146	148	157	165	不明	合計
患者		1	1	63		1	5	8			2	4			91	1	6	183
無症状病原体保有者				28	1	8	2	1			6	4	2		22		12	86
計		1	1	91	1	9	7	9			8	8	2		113	1	18	269

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)